

これまでに『子宮体がん発生要因に関する研究』・
『卵巣がん発生要因に関する研究』・『婦人科疾患の診断・治療法
確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』および
臨床試料提供にご協力頂いた患者さんへ
【過去の検体および治療データの研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科では「婦人科癌の重複癌症例に対するマルチ遺伝子パネル検査によるがん関連遺伝子の解析」に関する研究を行っております。この研究は、がん組織などから取り出した遺伝子を解析して重複癌と転移性がんとの遺伝子の違いを調べることによって、遺伝子パネルを用いた遺伝子診断に基づく治療法の個別化を可能にすることを主な目的としています。そのため、過去に当科において子宮体がん手術もしくは卵巣がん手術を受けられ、『子宮体がん発生要因に関する研究』『卵巣がん発生要因に関する研究』『婦人科疾患の診断・治療法確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』および臨床試料提供にご協力頂いた患者さんから提供頂いた検体とカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは子宮体がんの方で、順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科で『子宮体がん発生要因に関する研究』『卵巣がん発生要因に関する研究』『婦人科疾患の診断・治療法確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』および臨床試料提供にご協力頂いた方です。

利用させていただく検体とカルテ情報は下記です。

検体 : 手術時に摘出された子宮体がん組織および/もしくは卵巣がん組織
カルテ情報 : 患者基本情報 : 年齢、妊娠出産歴、身長、体重、閉経年齢
疾患情報 : 病理組織診断および病期、手術術式、治療内容、
癌既往歴、術後臨床経過（無増悪生存期間、全生存期間、転帰）
血液検査結果 : 腫瘍マーカー（CA125, CA19-9, CEA）
画像検査所見 : CT、MRI、PET/CT

この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 西暦 2019年6月1日 ~ 西暦 2028年3月31日まで
- ・研究責任者 吉田 恵美子

過去の検体およびデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、検体およびデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、匿名化されている情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないように、加工または管理されたものに限る）として研究に用います。

また、研究成果は、最新の研究指針を遵守の上、個人情報保護の適切な配慮・措置を行った上で学会や学術雑誌等で公に発表されることがあります。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、学内研究費および公的な資金（文部科研費「婦人科癌の重複癌症例に対するマルチ遺伝子パネル検査によるがん関連遺伝子の解析」）によって実施しておりますので、外部の特定企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

上記の検体を遺伝子解析実施のために下記解析委託機関に資料を提供します。

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()

- ・星薬科大学
- ・杏林大学
- ・順天堂大学医学部附属静岡病院
- ・株式会社ケミカル同仁（業務の一部の再委託先 中国 Novogene 社）

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科

電話：03-3813-3111

研究担当者：吉田 恵美子

順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科

電話：03-3813-3111

研究担当者：藤野 一成

順天堂大学大学院医学研究科難治性疾患診断・治療学/難病の診断と治療研究センター

電話：03-5802-1797

研究担当者：江口 英孝